

Greeting from KEIO

部長挨拶

慶応義塾大学バドミントン部部长 高宮利行



この文章を書いている7月12日は、既に関東では梅雨明けとか、ことしは従来にもまして暑さのきびしい夏になるようですね。

スポーツの世界ではサッカーとイチローだけが派手にマスコミをにぎわしており、その他でも頑張っているスポーツがたくさんあるのに、あまり注目されることがないのは残念ではありません。バドミントンもそのひとつかもしれませんが、かえってそのために純粋に練習に、そして試合に情熱をぶつけることができるのでしょう。

まだ暑い9月のはじめに開かれる早慶定期戦は、秋のシーズンを占う重要な伝統の一戦です。

両校の現役・OBによる日ごろの練習のたまもの成果を存分に発揮されることを期待してやみません。

終わりにあたり、この定期戦の実現に向けてさまざまなご尽力を賜った方々に厚くお礼申し上げます。

会長挨拶

三田バドミントンクラブ会長 吉田格麿



21世紀最初の早慶定期戦を迎え、一年の経過は大変早く感じます。これも年齢のせいかもしれません。去年は、私が体調を崩しご迷惑をかけ申し訳ありませんでした。現在は体調も大分回復し元気になりましたのでご安心下さい。

自分のことはさておき、長い間バドミントンと関わり、しかも定期戦の色々な試合が鮮明に思い出されます。その中でも最初の敗北はいつまでも忘れられないものです。当時はリーグ戦でも1部で良い成績を残していました。多分一番油断していたのは私だと思います。今でも反省している次第です。今年も早稲田大学は、1部で大活躍されていますが、慶応大学としては、過去のことは一切忘れ、21世紀最初の早慶戦を我が部のスタートとして原点に戻り心機一転頑張ってください。

現役諸君は、日頃の練習と夏季合宿の成果を発揮され、森下監督のもと一丸となって打倒早稲田を目指して下さい。特に女子は、去年の勝利を忘れ白紙で試合に挑む事が好結果につながると思います。

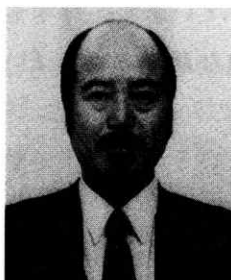
今年こそ男女供早慶戦の勝利のみに与えられる塾長招待会に参加し美酒をご馳走になりましょう。また、諸先輩におかれましては年1回のこの行事に集い学生時代の昔話に花を咲かせましょう。

末筆ながら、定期戦開催に当たり多くの方々のご協力に感謝をすると共に厚く御礼申し上げます。

Greeting from WASEDA

部長挨拶

早稲田大学バドミントン部部长 加藤 勇



第49回慶早バドミントン定期戦を迎えました。両校の選手諸君には良い思い出を作るために、良い試合を期待します。

私事ですが、7月1日～15日まで国際学会に参加するため私はアラスカ、カナダを回ってきました。アラスカは白夜でカナダでも暗くなるのは、3～4時間ぐらいでした。夜が明るいのでなんとなく睡眠時間が減ってしまいます。少し、旅行のスケジュールがきつかったので疲れましたが、気候は日中でも涼しく朝晩は長袖のジャケットを着るほどでした。色々昔の知人とも再会でき有益な旅ができました。

そんな涼しい気候のところから、日本に帰ってきてあまりにも暑いので、びっくりしました。今年は特に暑いとの事です。選手諸君には熱中症や脱水症にならないよう十分にきをつけて練習に励んでください。9月2日の早慶戦当日には少しは秋風も立って涼しくなってほしいと思います。

さて、早稲田大学ではスポーツ振興協議会が作られ、今年5月に総務担当常任理事でもある佐藤英善協議会委員長より体育各部の強化計画費に関する報告がありました。バドミントン部にも多少の予算措置がとられることになりました。大学としてもスポーツ強化に力を入れますので、部員諸君には益々練習に励み、好成績を挙げてください。

会長挨拶

稲門バドミントンクラブ会長 菊地利明



平成13年この早慶バドミントン定期戦も49回目になりますが、ここ数年来各大学、連盟、企業のバドミントン部からそれぞれ創部50周年のお祝いへのお招きを頂くことが多くなっています。

わが部も前前回のご挨拶でご披露申し上げました様に、第50回早慶定期戦の年がちょうど創部50周年になります。色々な面で難しい時期ではありますが、我々として出来る限りのお祝いを予定しております。

さて今年、我が部は、春のリーグ戦を通じて戦績は男女共いま一步ではありましたがOB・OGの諸君が大勢参加して、現役選手を大いに盛りあげてくれたことに感謝致します。亦毎年同じ事を申し上げて恐縮ですが、年々難しくなる体育部の運営に対しまして、今後とも皆様のたいなる御協力とご活躍に期待しております。

最後に今年もこの定期戦では両校選手の元気ある試合に期待し、そして健闘をお祈り致します。

第49回早慶バドミントン定期戦開催に際し、心よりお慶び申し上げます。今年早稲田にて開催されますが、現役諸君の元気でスピードあるプレーを期待するとともに、OBの方々の変わらぬ若々しいプレーを拝見できることを楽しみにしています。対戦する早稲田大学は、関東大学リーグで、男子も女子も1部・2部で、強豪相手に健闘するなど、めざましい活躍をしています。一方、当部は男女とも同リーグで3部残留となり、毎年掲げています2部・1部への道のりは、なかなか厳しいものとなっています。この現状を打破すべく、有力選手の獲得、日頃の厳しい練習による各個人の実力アップを課題に取り組んでいます。

学生諸君には、日本や世界のトッププレーを意識して、更に高度な技術・体力を会得するよう、努力していただきたいと念願しています。

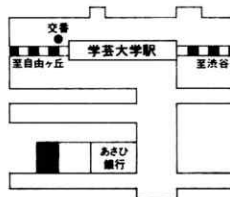
早慶戦では、多くの名勝負が繰り広げられていますが、バドミントンの勝ち負けだけでなく、それを超えた感動を与えてくれます。この伝統ある絶好の機会に、日頃の練習の成果を十分に発揮し、積極果敢に挑んでいく所存ですので、どうぞよろしくお願いたします。

最後に、来年はこの早慶バドミントン定期戦も50周年を迎えます。早慶両校バドミントン部の更なる発展と、両校の友好が更に深まることを祈念いたします。

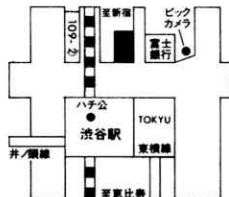
KEIO VS WASEDA

バドミントンプロショップ ウエンブレ

学芸大学
03-3716-2626
目黒区鷹番3-3-4



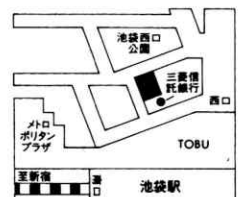
渋谷店
03-3409-6622
渋谷区渋谷1-25-6
第二石栄ビル4F



藤沢店
0466-26-7272
藤沢市南藤沢21-6
サンプラザ藤沢ビル7F



池袋店
03-5952-7070
豊島区西池袋1-14-3
INビル3F



今年も早慶両校の現役、OBが一同に会して競い合う早慶戦がやってきました。この伝統ある定期戦に監督として戦うことは光栄であり大変嬉しく思います。

今年の我が部は関東学生春季リーグ戦において男子は5位という不本意な成績に終わり、女子においても1部入りを第一目標に掲げ、2部優勝は果しましたが念願の1部入りは叶いませんでした。秋のシーズンでは必ずこの屈辱をはらすべく練習に励んでいます。

今年も全員で一丸となり対慶應戦に臨み、是非勝利をものにしたいと思います。しかしいつも独特の雰囲気の中で行われる早慶戦は過去いくつもの名勝負が実力を超越したところで勝敗がついて来ました。今年も気合い負けせず、日頃の練習の成果を十分に発揮し早稲田らしく悔いのないプレイを見せてほしい。特に4年生には良き思い出となるよう全力をつくして必ず勝利してもらいたい。そして秋のシーズンへ向けて勢いをつけて臨みたいと思います。

最後に、今年も慶應の現役、OB諸氏と共により良い試合を展開し、より両校の友好が深まることを望みます。

WASEDA KEIO

祝 早慶定期戦

各種記念ペナント調製

マーク・ワッペン・旗・腕章

オギワラ

〒160 東京都新宿区西早稲田1-8-24

早大東門前大隈通り

TEL 03 (3202) 7 8 4 6

FAX 03 (5273) 8 2 8 5

慶応義塾大学 昭和35年卒

土田 佳子

早慶定期戦も今年で第49回を迎えるに至ったとの事、誠におめでとうございます。両校のバドミントン部の活動の中でも、この定期戦という名のもとでのおつき合いが、長い年月を通じて然も日進月歩で変化する社会情勢の中にあっても変わらず営々と続けられているという事実は、私達卒業生にとってこの上ない誇りであり喜びであると共に大きな意義を持つものであると思います。さて、私は慶應義塾女子高校から大学卒業迄の七年間バドミントン部に在籍し、学生生活を追しました。今、早慶戦を迎えるにあたり、当時を顧みるとおぼろげな記憶の中でも一条の光明と共に私の大学4年の時の早慶戦（—それは昭和34年9月、新しく建てられた日吉記念館での初めての早慶戦でした—）での感動が断片的に思い出されます。同時に今振り返ると私個人にとりバドミントン部での活動は類稀と言える程活気に溢れる充実したものであったと思います。当時の女子は人数は少ない乍らまとまりが良く、実力のある先輩、気の合った同期、従順な後輩、皆、体力、知力、気力と三拍子揃った素晴らしい仲間と囲まれ、其々の個性、持ち味が程良くかみ合って人の和が生まれ、協調性が培われた結果、厳しい練習、試合も乗り越える事が出来たと思います。卒業後40年以上過ぎた今、ハイクリヤーの爽快感あふれる音、スマッシュの決まった時の胸の高鳴りと共に、楽しかった事柄ばかり思い出され、私の人生にとって大きな宝物となっていると思います。

KEIO

慶早戦
に
寄せて

WASEDA

慶応義塾大学 総合政策学部 平成8年卒

鈴木 浩樹

第49回慶早バドミントン定期戦の開催おめでとうございます。

まだまだ現役と変わらないと思っていましたが、OBとなってから早5年が経ち、体の衰えを少しだけ感じ始めています。

この慶早戦で両校のOBの方々にお会いできることと、4年生が最後の夏を終え、最後の慶早戦・直後に控えたリーグ戦に挑む真剣な顔が見られることを楽しみにしています。

私の現役時代は、早稲田は1部の優勝を争うトップ校、一方慶応は3部で2部との入替戦には行くものの勝てず万年の3部校になってしまった頃でした。そのため慶早戦はリーグ戦で入替戦を目指すために、格上の早稲田に胸を借りるという試合でした。

そのため私にとっての慶早戦は、1・2年生の時は出場することが目標でした。夏合宿で最後まで出場枠を争い、何とか出場することができたものの、初めての慶早戦で独特の雰囲気、出場できたことの興奮、緊張で納得のいくプレーができないまま終えたことを鮮明に覚えています。最後の4年の時にはダブルスでは勝ち、シングルスでも勝利を期待されながらも自分のプレーができず負けてしまいシングルスでは1度も勝てず、結局チームとしても4年間で1度も勝てず、その後OBとなってからも未だに慶早戦での勝利の美酒を味わったことがありません。

現在でも両校の実力差は明白ですが、現役の皆さんには全力でぶつかり前評判を覆すような番狂わせを予感させる、番狂わせを起こす試合を期待しております。

早稲田大学第二文学部 平成9年卒

中島 大介

第49回早慶バドミントン定期戦の開催にあたり、心よりお祝い申し上げます。

大学を卒業してから早くも社会人5年目となり、一生懸命部活動に力を注いだ4年の月日と同じ時間が、もう過ぎてしまったのかと、淋しく、また懐かしく思います。

私の『早慶戦』についての印象は、他の試合では味わえない独特の雰囲気の中で行う対抗戦です。いわゆる聖域とも思える空間の中で、自分達の練習の成果と母校の威信にかけて戦う真剣勝負。

私が初めて憧れの『早慶戦』の舞台に立てたのは幸運にも1年生の時でした。試合前の選手紹介と共に、校歌を聞いた時の感動は胸にジーンと来るものでした。両校の勝敗を分ける大事な試合として臨んだシングルス。ただ勝ちたい一心で緊張感も感じないほど無我夢中で、一球一球に熱くなりました。結果は自分も早稲田も勝利し、余韻と共に朝まで美酒に酔いしれた事を思い出します。

『早慶戦』は他の試合では経験できない貴重な経験ができるだけでなく、両校の友情を深め合う事のできる、年に一度の特別な場だと確信しております。また、『早慶戦』はOB・OGの皆様にとっても昔を思い出しながら、日頃会えない方々との貴重な集いの場であります。きっと本日を迎える事を楽しみにされていた事と思います。

定期戦に出場される現役の皆さん、日頃の練習の成果を思う存分発揮し、将来につながる貴重な経験と、両校の友情を深め合ってください。また、OB・OGの皆様は後輩諸君の試合を盛り上げ、懇談会ではおいしいお酒が飲める事を楽しみにしましょう。

最後にこの定期戦を開催するに当たり、大変なご苦勞をされた主務・副務をはじめ多くの方々に厚く御礼申し上げます、さらなる『早慶戦』の発展を心より祈念しております。

WASEDA

早慶戦
に
寄せて

KEIO

早稲田大学第一文学部 平成13年卒

辻井 貴子

第49回慶早バドミントン定期戦の開催に、心よりお祝い申し上げます。

卒業して半年余り、新しい生活にも、やっと慣れてきた反面、一気に運動不足となってしまうことに気が付き、少々反省をしているところです。こうして早慶戦寄せる思いを述べる場を頂いたことで、久々に、毎日のように体を動かしていた当時のことが懐かしく思い出され、今と余りに違う生活に、ちょっと不思議な気分です。

私にとって最も印象に残っているのは、やはり四年前、生れて初めて臨んだ1年生の時の早慶戦です。同期4 (!) 人、予想もつかないような数々のトラブルの中、バタバタと必死になっていたことが今でも甦ります。また、迫力と余裕をも併せ持つ諸先輩方のプレーに目を見張ったこと、応援に声を張り上げたこと。普段は顔を合わせることの少ないようなOB、OGの方々にお会いし、いろいろな分野のお話を聞くことができるのも、とても珍しく、興味深い体験でした。まさに、「独特」という言葉以外では表現のできないあの雰囲気を味わえたことは、私の大学生活の中で今でも、大きな位置を占めています。

いわゆる、「体育会」、という括りの中でバドミントンをするということの、意味はそれぞれに違うことでしょうか。部の中で担っている役割もまた、それぞれに異なっていることと思います。しかし、そんな一人一人の目標や思いを束ねて、一つのチームとして戦えること、そして同時に、縦と横、両方のつながりを再確認できること。それが、サークルや学生ではないチームと一線を画するところであり、この「早慶戦」の意義なのではないかと、今は思います。

秋のリーグ戦を控え、忙しくもあり、辛くもある時期だろうとは思いますが、現役として迎えることのできる早慶戦はたったの4回きりです。多くの伝統に縛られることなく、新たな伝統を書き加えるつもりで、今日を一日、思う存分楽しんでください。

最後になりましたが、開催、運営するにあたり、ご尽力下さった監督、先輩、そして主務、副務の皆様、心から御礼申し上げます。素晴らしい試合を、期待しております。

慶応義塾大学環境情報学部 平成13年度卒

岩部直子

今年もまた、伝統ある慶早バドミントン定期戦が無事開催されることを、心よりお喜び申し上げます。

慶早戦で思い出されるのは、やはり初めて出場した第45回定期戦です。高校戦に始まり、華麗な技術で競い合うOB・OG戦。それかを観戦しているだけで、この定期戦の伝統や位置付けの大きさをひしひしと感じたものでした。現役戦では、大学界を代表する早稲田大学の選手を相手に粘り強く向っていく先輩方の姿勢に感化され、また応援指導部の方々の熱い応援に、挑戦する意欲も高まってきました。

現役の皆さんには、日々の練習の成果を十分に発揮するのはもちろん、慶早戦の名勝負に残るすばらしい試合を期待します。また、よき伝統あるコート外での交流、世代を越えた交流も十分に深めてもらいたいと思います。

最後になりましたが、今大会を運営なさる方々に感謝し、すばらしい大会になるよう両校の選手にご健闘をお祈り申し上げます。



「歴史と伝統」!! 手作りの店
部員会に! その他のパーティーに!

山 食

慶応義塾三田キャンパス内
TEL 03(3453)5971

早稲田大学人間科学部 平成13年卒

吉川 勇司

早稲田と慶應が1年に1度会するこの伝統ある早慶バドミントン定期戦が、今年もまた無事例年通り開催されることをうれしく思うとともに名勝負が展開されることを非常に期待しております。

早慶戦といって最初に思い出されるのは、リーグ戦やインカレとは違ったその独特な雰囲気、盛り上がり、慶應の諸君と試合上での交流です。もちろん勝利を目指して試合を行っていたわけですが、ただ「勝つこと」それだけではなく、ほかの試合で感じることでない「何か」が早慶戦の中にはあったと思います。また、レギュラーとレギュラーでないものが一緒に団体戦を戦い、ともに勝利のための奮闘することによってチームにより一層の結束が生まれました。

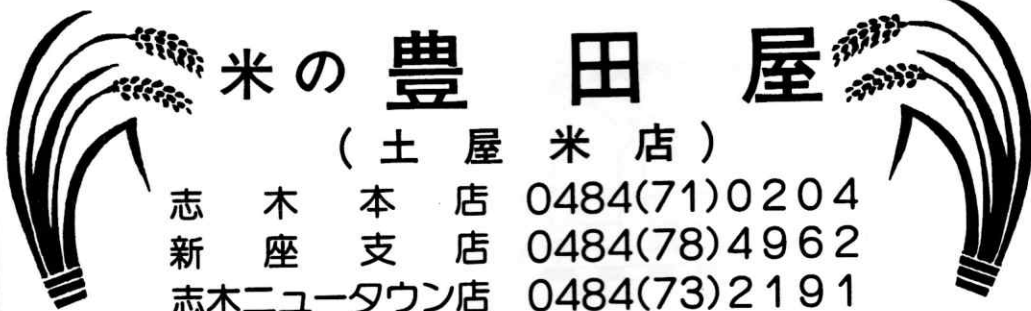
この早慶戦は東日本インカレと秋季リーグ戦やインカレとの間に開催されて非常に忙しい中での試合ではありましたが、この早慶戦での勝利が次に続く秋季リーグ、インカレへのステップであったように思われます。早稲田・慶應両校の後輩諸君には実力を遺憾なく発揮し、また次に繋がるプレーを披露してもらいたいと思います。

そして、試合後の「酒」においてももちろん同様です。早慶の交流を深め、かつ互いに負けずに十分に飲み合ってください。

最後になりましたが、今大会を運営なさる方々に感謝し、すばらしい大会になるよう御健闘をお祈り申し上げます。



花は桜木 バドミントンは早稲田
彩は紅 米は豊田屋



米の豊田屋
(土屋米店)

志木本店	0484(71)0204
新座支店	0484(78)4962
志木ニュータウン店	0484(73)2191

今年も伝統ある慶早バドミントン定期戦を迎えることになりました。今年で49回目を数えるこの定期戦に、主将として参加できることに最高の名誉を感じるとともに、責任の大きさも強く感じる次第であります。

さて、今春我が部は若さと情熱あふれる多くの新入部員を迎え、より活気溢れる練習に汗を流すことができました。しかしながら、春リーグでは男女とも3部3位という非常に不甲斐ない結果に終わってしまいました。男女とも2部昇格を狙っていただけに苦渋をのまされる結果でした。しかし、このくやしい結果があったからこそ、森下監督のもと秋リーグに向け厳しい練習を乗り越えることができたと確信しております。そして今、この伝統ある慶早定期戦で弾みをつけ、秋リーグにて勝利を取めたいと思っております。最後に、早稲田の諸君、お互いに日頃の練習の成果を発揮すべく、ベストをつくし、最高のプレーをしようではないか。

そして我々の戦いを、またひとつ慶早の歴史に深く刻み込もうではないか。

今年こそ、慶應の飛躍した姿を、熱い塾生魂をお見せします。

KEIO VS WASEDA

スパゲッティ&ハンバーグ

レストランマリーナ

AM.10:00~PM.8:30

定休日 日曜・祝日

横浜市港北区日吉2-2-10

TEL045-563-9870



今年も早慶バドミントン定期戦を迎えることになりました。本年で49回を数えるこの歴史ある大会に主将として出場できることに最高の名誉を感じるとともに主将として我が部の勝利をもたらさなければならないという責任感を強く感じる次第であります。

さて、我が早稲田大学バドミントン部は、今年の春季リーグ戦では男子は1部5位、女子は2部で優勝しましたが、惜しくも1部昇格ならずということで、主将としてはまだ納得のいかない成績だと思っています。しかし、この春リーグの屈辱をバネに厳しい練習を積み、秋のシーズンに向けて体力的にも精神的にも技術的にも確実に進歩したものと確信しております。この伝統ある早慶戦において勝利を収め、さらなる目標に進んでいきたいと思っています。

慶應の諸君、お互いに日ごろの練習の成果を十分に発揮し、正々堂々と個々の納得いくプレーをし、この伝統ある早慶戦にふさわしい最高の試合をしようではないか。

最後になりましたが、常日頃から応援激励していただくOB・OGの皆様には厚く御礼申し上げ第49回早慶バドミントン定期戦が無事に開催されることを願って、主将抱負とかえさせていただきます。

WASEDA VS KEIO

がんばれ早稲田！

The IT revolution ?



Engineering Systems Practical Aid
株式会社エスパ

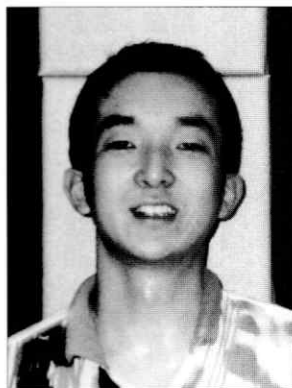
〒130-0026 墨田区両国 3-21-16 両国中屋ビル
TEL : 03-5624-7231 FAX ; 03-5624-7232
代表取締役 細村 悦子 (S60年度卒)
URL: <http://www.e-space.ne.jp/espa/>

KEIO



主将
辻 典宏
環4 東海

現主将。得意技はネット&カット。切ったり韻を踏んだりすることに凝っている。



副将
三壁 敏隆
政4 桐蔭学園

得意技はスマッシュネット。が、本質はねばりのため華麗さを想像してはいけない。



主務
金丸 敦
文4 桐蔭学園

自称ドロップの
魔術師。だが試
合ではほとんど
使わないのを誰
が知ろうか？



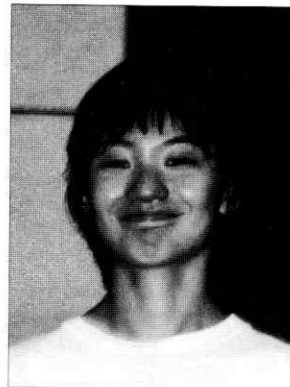
木山 博子
文3 近大福山

健康不良のため
陰の薄い感が否
めないが言動か
らは想像も出来
ない熱い闘志を
持っている。



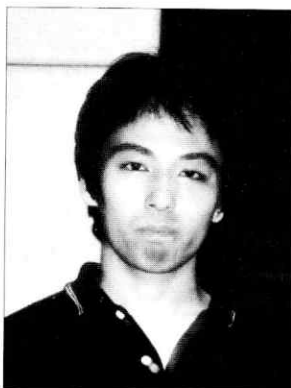
紅山 麻子
文3
American
community
school

実は本塾史上類
を見ないバドの
サラブレッド。
早慶戦ではお母
君との特訓の成
果をみせるか？



永島 由紀子
政3
三輪田学園

彼女のプッシュ
には定評があ
る、必ず取られ
ると。だがネット
はそれを補っ
て余りある。



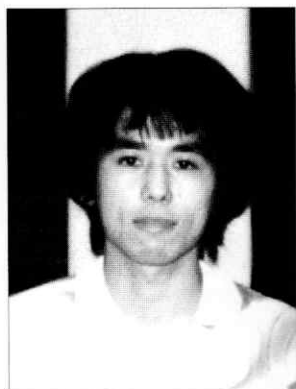
脇森 浩志
理3 桐蔭学園

強みはシングルの
ネット前が異
常に速いこと。
あまりの速さに
ふくらはぎしか
見えないとい
う・・・。



田添 亮
環3 長崎北

守備範囲という
より、攻撃範囲
の広さが彼の売
り。



星合 崇秀
環3 東海

抜群の身体能力の持ち主。しかし、守備範囲はやたらと狭い・・・。



朽見太郎
文2 海城

勝利の雄叫び、朽見太郎。さあ、皆さんと一緒に「イッエース!!!」



落合 惇
商2 桐蔭学園

注目の成長株。なぜか上達と共にラケットを重くしている。終いには木製ラケットを使い出すだろう。



渡邊 渉
商2 浜田

本塾最大の期待株。筋力、技術は申し分ないが、思わずホームラン(アウト)を打ってしまうのがネック。



佐倉 千絵
理2 市立千葉

小さな体を補うかのようにフィジカルが充実する彼女はいつか努力が結実して大成するだろう。



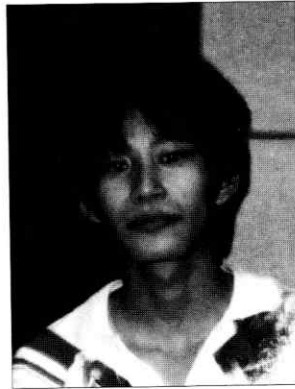
野村 由貴子
環2 精華女子

要所要所に見せるカリスマ性には泣く子も黙り込む、いや、さらに泣く。



足田 一二美
商1
西大和学園

本塾期待の新人女子。初心者だがやる気は十分。いつかその名の通り雅なプレーを見せてくれるだろう。



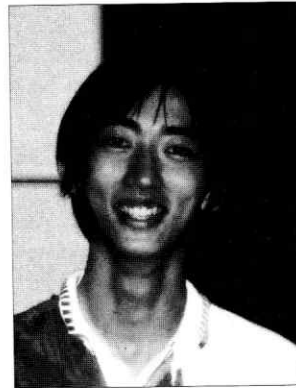
田中 仁
経1 巣鴨

実に6年ぶりのサウスポー。期待大の彼はダブルラーなのにドロップ・カット好きである。



松下 光旗
理1 長崎東

期待の新生。中学時代は県チャンピオン。性格は、長崎県人のわりに真面目で品性がある。



和木 貴宏
理1 逗子開成

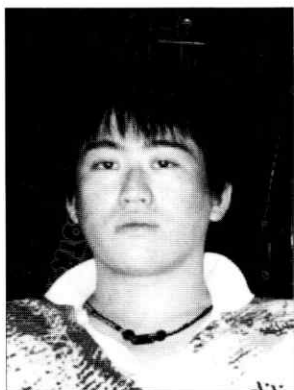
これからの成長株の彼。野村の背中をみて立派に育っていくだろう。



吉岡 達循
環1 渋谷幕張

肉体作りが得意な彼は実際よく動きスタミナも続く。その筋力を使って球を走らせてほしいが・・・。

WASEDA



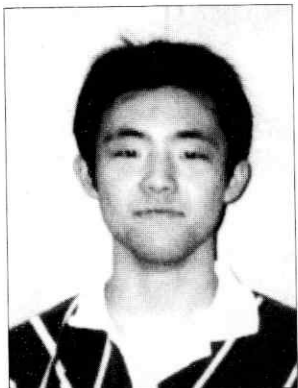
主将
車 浩明
人科4
金沢市立工業

今年はキャプテンとして部活はもちろんのこと、私生活でもみんなを引っ張っている。



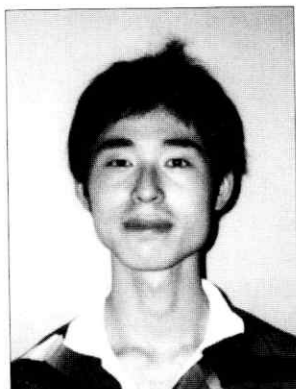
副将
板崎 勇樹
教育4
関東第一

就職も決まりひと安心。やっと部活に打ち込めるようだ。インカレはあなたに任せた！



板倉 正弥
人科4
都立武蔵

4年間共にダブルスを組んできた田中と日々切磋琢磨し、頑張っている。



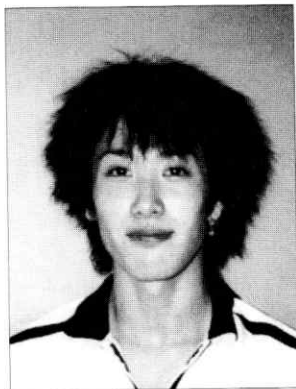
主務
田中 克典
人科4 岐阜北

4年間共にダブルスを組んできた板倉と日々切磋琢磨し、頑張っている。



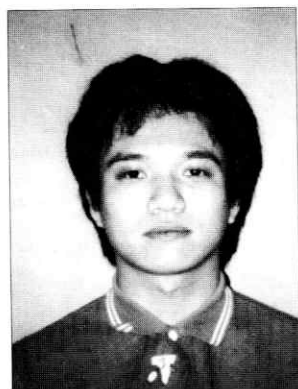
岩脇 史
社学4 埼玉栄

日本どころか世界でも活躍中。偉大なエースである。



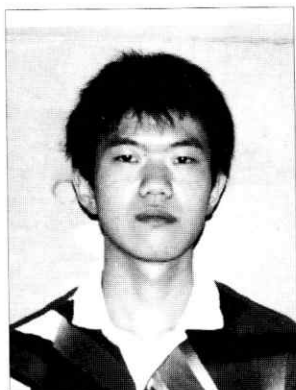
三上 紘由
人科3
宮城県工業

いつも早稲田にポイントをもたらしてくれる頼れるエース。



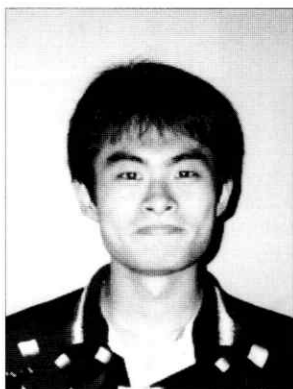
梅本 修平
人科3 比叡山

バドミントンを始めたころからダブルスのスペシャリストとして奮闘中。



芝山 誠一
人科3
関東第一

高校バドミントン界屈指の有力校関一の元キャプテン。その貫禄は今でも健在。



鈴木 裕介
理工3 大宮

一般生のエースとして、Bで優勝候補の彼は一般生の目標である。



加藤 晋一
政経3
都立三鷹

今年は副務として主務を上回る活躍で奮闘中。今井さんの側近でもある。



稲垣 翔悟
人科2 比叡山

新人戦、単複ともに上位入賞し、彼の時代はもうすぐだ。



二宮 和敬
社学2
高松商業

シングルスはあきらめていたそうだが春リーグで活躍し、その気になったようだ。



田辺 理絵
社学2
九州国際大付属

ダブルスにかけると言っているが、シングルスも捨てずに実力をつけてほしいものだ。



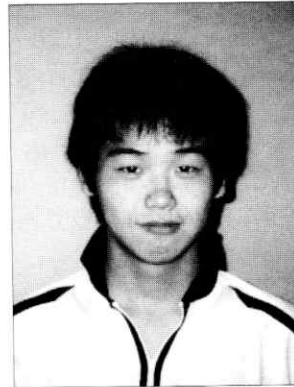
高松 弘樹
法2 富山

1年遅れて入部したので、遅れを取り戻そうと日々頑張っている。



槇野 貴行
人科1
常総学院

選抜優勝という
肩書きを背負い
入部、リーグで
も1勝を上げ
た。



藤巻 光善
社学1 星陵

今まだ眠ってい
るが身体能力は
高いので、化け
るかどうかは彼
次第。



長戸 亮祐
政経1
高知学芸

実力はまだまだ
だが長身を活か
し日々成長して
いる。



川合 光
教育1
国学院久我山

練習熱心でバド
ミントンをこよ
なく愛する男で
ある。



橋本 明奈
人科1 埼玉栄

華やかな実績を
持ち、単複共に
テクニシャン。
大事なポイント
ゲッターである。
る。



譜久村 美紀
社学1 宮古

まじめにこつこ
つ練習する彼
女。今後に期待
したい。

MEMBER

慶應義塾高等学校メンバー



部 長	遠 藤 耕 一
副 部 長	宇 佐 美 徹
主 将	窪 田 朋 秀
副 将	来 山 千 裕
	山 下 和 則
主 務 員	矢 澤 和 明
副 務 員	戎 龍 一
	清 原 悠 也
	千 葉 大 輔
	中 田 考 則
	宮 澤 純 一

出身中学	芝浦工業大学附属中 学年	3 年
	慶應義塾普通部	3 年
	常盤中学校	3 年
	慶應義塾普通部	3 年
	住吉中学校	3 年
	青嵐中学校	3 年
	寺尾中学校	3 年
	国分寺第二中学校	3 年
	赤坂中学校中	3 年

MEMBER

早稲田大学高等学院メンバー



部長	工藤 准司
	関 達也
主将	高杉 謙一
副将	馬場 毅
主務	与那 亮太
会計	佐田 康信
部員	島田 裕太
	岩崎 良彦
	田宮 敬祐

出身中学	東村山第四中学校	学年	3年
	本郷台中学校		3年
	府中第六中学校		3年
	有馬中学校		3年
	丘青嵐中学校		3年
	東村山第四中学校		2年
	本郷台中学校		1年